

東京 2020 聖火フェスティバル 採火式 (福島県中通り)

たむら支援学校高等部 3 年

齋藤 朱 さん

新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか思うような生活ができていない日が続いており、中通りの代表として、地域の皆さんや世界の皆さんに笑顔届けたい思いで参加しました。採火式はとても緊張しましたが、笑顔を届けることができてよかったと感じました。今日の経験を活かし、困っている人を助けられるような人間になれるよう、より一層頑張っていきたいです。また、東京パラリンピックに出場される選手の皆さんには、オリンピックのように選手一丸となり、金メダル目指して頑張りたいです。



東京 2020 パラリンピックの聖火として東京に送られる、「中通りの火」の採火式が 8 月 13 日、四季の里（福島市）で行われ、中通りにある全 29 市町村が共生社会の実現やパラリンピックの成功などの願いを込め、独自の手法で起こした「種火」を集約し「中通りの火」が作り出されました。

中通りの代表採火者を、千葉麻美さん（北京五輪陸上日本代表・東京五輪聖火リレー福島県最終ランナー）と福島県立たむら支援学校高等部 3 年の齋藤朱さんが担い、千葉さんが聖火台から採火し、齋藤さんの持つランタンに火をともしました。

その後「中通りの火」は、8 月 15 日に県内 3 方部の火が集約され、「福島県の火」として開催都市東京へ送り出されました。



テクノロジーで、思いは国境を超える。
Grow with Google の特別授業を実施、事例動画公開



東京大会の機会に、選手たちと直接交流する状況は叶いませんでしたが、テクノロジーの力を活用することで、新たな形で子どもたちが世界に目を向けるきっかけとなり、言語や文化が違っても思いを伝え、交流する術を学ぶ機会となりました。

子どもたちが最新の技術に触れ、また一歩、成長する姿をぜひ映像でご覧ください。

※田村市は Google によるデジタルスキルトレーニングプロジェクト Grow with Google のパートナーとなっているため、今回の特別授業を実現することができました。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流の一環として、Grow with Google の特別授業に、6 月 24 日に船引南中学校の 3 年生 23 人、6 月 30 日に緑小中学校の 4・6 年生 13 人が参加し、授業の様子が事例動画として、Google Japan の YouTube チャンネルで公開されました（事例動画は緑小中学校のみ）。

田村市では、2018 年にネパール連邦民主共和国のホストタウンに登録されてからこれまで、代表候補選手が田村市を訪れ、さまざまな交流を行ってききましたが、新型コロナウイルスの影響により、東京大会での事前キャンプ受入れを中止しました。

授業では、Grow with Google 講師からオンライン上で説明を受けながら、「Google 翻訳」などを使用して、ネパールの代表候補選手へ向けてメッセージを考えました。



Grow with Google
について



Google Japan
Youtube チャンネル

※ Google、Google ロゴは Google LLC の商標です。



田村市 種火起こし

田村市の種火起こしは、8 月 11 日、グリーンパーク都路で行われました。田村市の代表的な夏祭りの一つである「都路灯まつり」の竹灯を再現し、田村市の採火者である都路中学校の村上瑠祈さん（1 年）と吉田圭吾さん（3 年）が竹灯から火を採火し、田村市の種火を作り上げました。

この竹灯の火は、これまで多くの方々に感動と勇気を与えてきた希望の灯（ともしび）です。東京 2020 パラリンピックが多くの方々に希望を届ける時間となるようお願いを込めて…。

都路中学校 1 年

村上 瑠祈 さん

日本で開催されるパラリンピック聖火リレーに携わることは、一生に一度経験できるかどうか分からない機会と思い参加を希望しました。

種火起こしはとても緊張しましたが、幻想的な雰囲気の中、楽しく参加できました。パラリンピックでは、ボッチャや車いすテニスの競技に注目しています。

都路中学校 3 年

吉田 圭吾 さん

東京でオリンピック・パラリンピックが開催される機会に、貴重な経験ができると思い参加を決めました。いつも楽しみに見ていた「都路灯まつり」の竹灯の火を田村市の種火として、聖火リレーで使用されるのをとてもうれしく思いました。パラリンピックでは、車いすテニス、バスケットボールの競技に注目しています。

東京 2020 パラリンピック聖火リレー

— あなたは、きつと、誰かの光だ。 —

東京 2020 パラリンピック聖火リレーは、オリンピックの熱気と興奮をつなぐべく、オリンピック終了後、8 月 12 日から 24 日のパラリンピック開会式までの移行期間に開催されました。

コンセプトは、「Share Your Light — あなたは、きつと、誰かの光だ。」で、「新たな出会いから生まれる光を集めて、みんなが調和し、活かしあう社会を照らし出そう。」

という思いを表しており、多様な、そして社会の中で誰かの希望や支えとなっている光（人）が集まり、出会うことで、共生社会を照らす力という想いを表現しています。

このパラリンピック聖火リレーの聖火は、47 都道府県で生まれた炎が東京に集まり、ひとつの火となり、最終的にパラリンピック開会式へ届けられました。

